

# 第2回 やすらぎ荘の 今後に向けた説明会



2024年（令和6年）11月20日  
藤沢市 高齢者支援課  
やすらぎ荘



## ◆第1回説明会について◆

【やすらぎ荘の様々な課題の共有】

施設の老朽化、利用者数・新規登録者数の減少、  
利用者の固定化、施設のランニングコスト・修繕コストの増

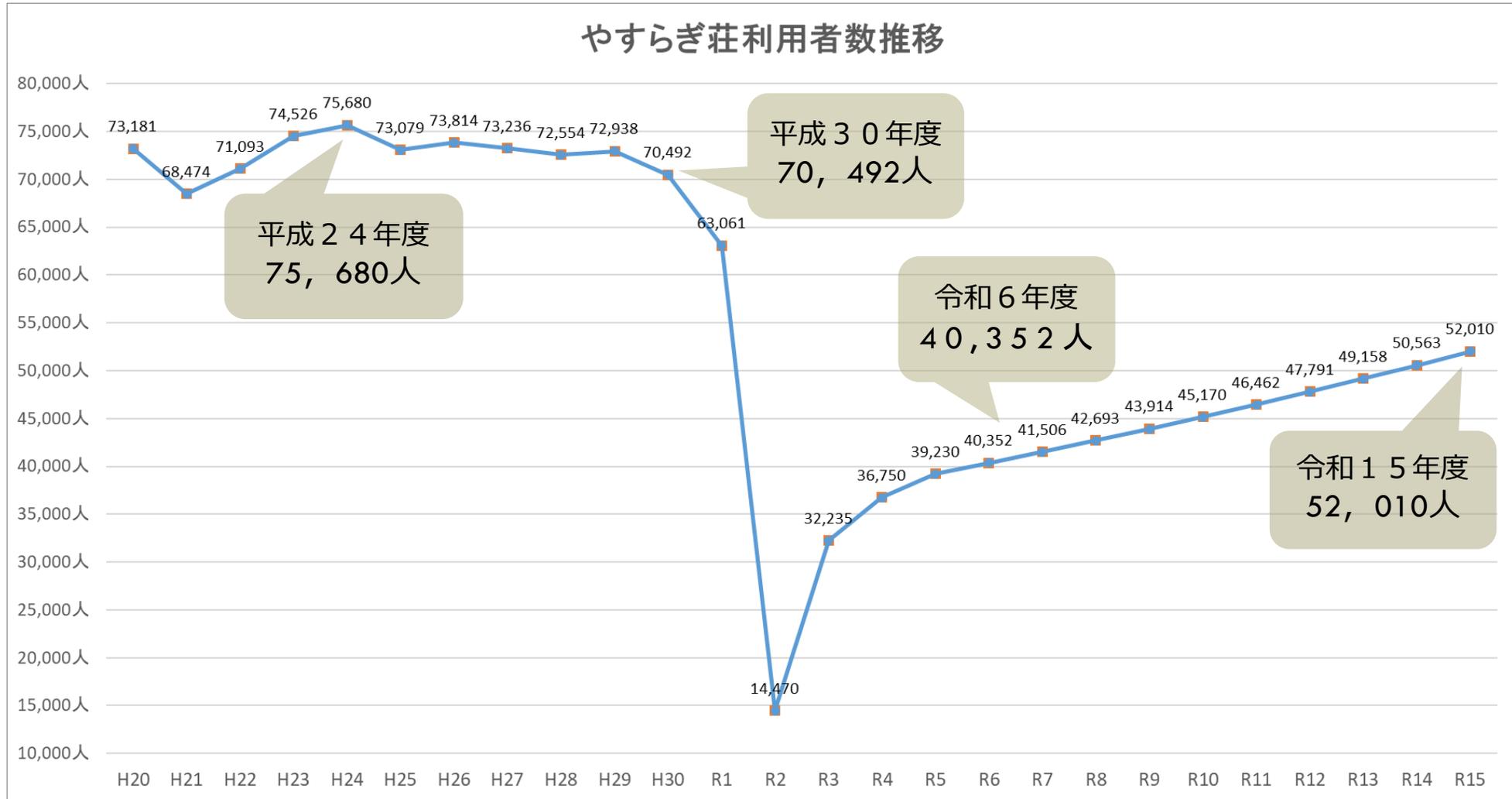
➡ 長年にわたり、修繕を繰り返している状態にあるため、  
現施設の延命化が難しい状況

皆様からのご意見等を踏まえ、議論を深めて  
まいります。

## ◆本説明会の目的について◆

2回目となります本説明会では、やすらぎ荘の今後を「建替え」、「継続使用」または「廃止」と仮定した場合について、市としての考えをご説明し、皆様からご意見をいただきたいと考えております。

# ◆利用者の将来推計について◆



# ◆他市の状況について【参考】◆

他市の老人福祉センターの状況（HPから参考）

令和6年10月1日現在

方向性	市町村名	人口	高齢者（65歳以上人口）	高齢化率	建物数	今後の方向性・見直しについて	運営事業者
廃止・統合	横須賀市	380,313人	124,393人	32.70%	4（うち1つR6.3廃止）	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度から年齢制限なく、世代の住民が、集い・交流できる場に再編</li> <li>R5年8月利用者等説明会開催</li> </ul> R6.3に廃止した施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティセンターと機能集約</li> <li>R5年3月に利用者等説明会</li> </ul>	社福）横須賀市社会福祉事業団
廃止・統合	我孫子市	131,241人	40,476人	30.84%	2	令和6年度末を目途に、1館に統合	社会福祉法人アコモード 社会福祉法人我孫子市社会福祉協議会
廃止	熊本市	737,409人	200,428人	27.18%	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>10か所の老人福祉センターのうち、4か所を廃止（R6年4月1日）</li> <li>利用者説明会を令和5年6月～8月にかけて、各施設2回ずつ開催</li> </ul>	熊本市東部在宅支援センター 他
拡充	浜松市	785,210人	226,659人	28.87%	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年4月から老人福祉センター等を高齢者のみを対象とした施設から、高齢者向けの機能を継続するとともに、子育て世代も利用できる「多世代交流センター」へ転換</li> <li>平成30年2月1日～2月11日において利用者アンケートを実施</li> <li>平成30年12月パブリックコメント実施</li> </ul>	
機能見直し	京都市	1,437,377人	408,761人	28.44%	17	高齢者の居場所事業、老人クラブハウス、老人いこいの家を「健康長寿サロン」に統合。統合にあたり、老人福祉センターの事業を一部移譲。老人福祉センターは介護予防事業を拡充する。	京都市社会福祉協議会（15か所） 社会福祉法人清和園（1か所） 社会福祉法人淀福社（1か所）
廃止	古河市	140,075人	41,461人	29.60%	2（R6.3に廃止）	令和6年3月31日の指定管理運営期間終了と同時に老人福祉センターを廃止。高齢者福祉の充実のため、以下の施策を展開している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>老人クラブ交流事業の支援（新規）</li> <li>老人クラブ活動費補助金の増額（見直し）</li> <li>アクティブな高齢者活動の推進（新規）</li> <li>高齢社のタクシー料金助成（見直し）</li> <li>補聴器購入助成の増額（拡充）</li> </ul>	ワーカーズコープ 古河市社会福祉協議会
機能縮小	堺市	813,053人	230,129人	28.30%	7	すべての老人福祉センターにおいて、2025年（令和7年）3月31日に、入浴事業を終了する。入浴事業以外には、引き続き事業を継続し、介護予防機能の強化を進める。設備の故状況によっては早期に入浴事業を終了するとしており、ボイラー設備故障により既に終了しているセンターが1箇所ある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>堺市立の高齢者福祉施設のあり方に関する基本指針（令和2年3月に策定）</li> </ul>	<指定管理> 社会福祉法人 堺中央共生会（2か所） 社会福祉法人大阪府社会福祉事業団（3か所） 社会福祉法人 南の風（1か所） <民営> 社会福祉法人 南の風（1か所）
拡充	小牧市	149,146人	38,248人	25.64%	3（うち1つR4新設）	令和4年に1館新設（地域住民や近隣の駅の利用者との多世代交流を目的とした機能あり）。既存の2館についても、1館はH30に建て替えを行い継続して利用。	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

## ◆他市の状況について◆

老人福祉センターの設置につきましては、建物の老朽化や社会状況及び高齢者の方々の生活状況の変化などにより、施設のあり方を見直しているところが見受けられます。

その多くは、老人福祉センターとしての機能を共生型に見直したり、または廃止・統合するといった方向で検討されています。

## ◆市における公共施設再整備の考え方◆

老人福祉センターなど、大型施設の再整備を行うときには、単一機能での建替えは、原則禁止としています。

また、施設の新規建設の前に、既存の施設の有効活用を検討し、周辺施設等との機能集約、複合化を検討することとしています。

## ◆老人福祉センター設置の考え方◆

今後の老人福祉センターの再整備については、これまでの拠点整備の考えから、より身近な地域において、機能別にサービスを楽しむことができる方向に転換してまいります。

地域性を重視した機能集約、複合化を検討しているものです。（一例：湘南なぎさ荘の鵜沼市民センター機能集約）

## ◆今後のやすらぎ荘の3つの想定◆

- 建替え（共生型※の想定）
- 継続使用
- 廃止

課題についてまとめてみます。



共生型とは…年齢を問わず、どなたでも利用ができる施設



## ◆建替えについて（想定）◆

- ・ 高齢者を含む、多世代の方と交流ができる「共生型」の施設を想定

メリット：新しい建物において、より安全に活動を行うことができる。

年齢を問わない交流の可能性が広がる。

デメリット：莫大なコストがかかる。

建替え費用

約12億5千万円

解体費用

約5,660万円

ランニングコスト

約6,481万4千円

## ◆現建物の継続使用について（想定）◆

第4次公共施設再整備プランにおいて、やすらぎ荘はすでに築55年を経過しているため、延命化の検討は行わない予定です。



## ◆今後の予定◆

令和6年 12月

12月議会での報告

令和7年 1月

本日のご意見をもとに、  
次回説明会を開催



## ◆今後のやすらぎ荘について◆

今回の説明会において、皆様にも課題感を共有していただきたいと思い、資料を作成しました。

大切に利用いただいているやすらぎ荘について市側が一方的に決めることはできないものと、考えております。

忌憚なきご意見を頂戴できましたら幸いです。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

